

7/25 3.21

# 内閣支持率 最低水準に

## 各社世論調査 マイナ問題が影響

率は28%で岸田内閣として最も低かった22年12月の25%になりました。不支持率は、65%。広島での主要7カ国首脳会議(G7サミット)開催中の5月調査時は46%でしたが、2カ月で「気分」も上昇したことになります。これまでの調査後で維持してきた自民党的な支持率も24%に下落するなど、同党への不信も広がっています。

マイナンバー制度への不安も依然と強い状況です。「毎日」の調査で、「不安を感じる」は63%。「不安を感じない」の25%を大きく上回っています。また、マイナンバーカードにメリットを感じるかどうかについて、「あまり感じない」が34%、「全く感じない」が17%と計50%となりました。

「読売」・「日刊」が21~23日に実施した調査では、岸田内閣の支持率は発足以来最も低い35%でした。不支持率は52%で、2022年12月に並び最高となり、岸田政权への不信が国民に広がっているとみられます。

「毎日」の調査(22、23西田実施)でも、内閣支持率は28%で岸田内閣として最も低かった22年12月の25%になりました。不支持率は、65%。広島での主要7カ国首脳会議(G7サミット)開催中の5月調査時は46%でしたが、2カ月で「気分」も上昇したことになります。これまでの調査後で維持してきた自民党的な支持率も24%に下落するなど、同党への不信も広がっています。

マイナンバー制度への不安も依然と強い状況です。「毎日」の調査で、「読売(日刊)」の調査で、岸田首相が指導力を發揮していると「思わない」は80%になりました。政府が今秋までに実施された総知検で解決すると想うかどうかも、「思わない」が78%となりました。

マイナンバー制度への不安も依然と強い状況です。